

D I ニュース

薬剤部 薬品情報係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	リリカ Cap 75mg	市販直後調査 平成22年6月～平成23年1月
(英名)	LYRICA Capsules 75mg	
(規格・含有量)	75mg/1Cap 1カプセル中有効成分プレガバリン 75mg 含量する	
(一般名)	プレガバリンカプセル	
(メーカー名)	ファイザー	
【薬価収載日】	2010年6月	
【薬価】	167.10円/1錠	
【薬効コード】	871190	
【薬効分類名】	帯状疱疹後神経痛治療剤	
効能・効果	帯状疱疹後神経痛	
用法・用量	通常、成人には初期用量としてプレガバリン1日150mgを1日2回に分けて経口投与し、その後1週間以上かけて1日用量として300mgまで漸増する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最高用量は600mgを超えないこととし、いずれも1日2回に分けて経口投与する。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	本剤・他剤作用増強 オキシコドン ロラゼパム アルコール(飲酒) 本剤・他剤副作用増強 血管浮腫を引き起こす薬剤(アンジオテンシン変換酵素阻害薬等) 他剤副作用増強 末梢性浮腫を引き起こす薬剤(チアゾリジン系薬剤等) その他 中枢神経抑制剤(オピオイド系鎮痛剤)	
副作用	重大な副作用 心不全、肺水腫、意識消失、横紋筋融解症、腎不全、血管浮腫	
備考	ガバペンのアナログ製剤	

(薬品名)	ファミビル錠 250mg
(英名)	Famvir Tab.
(規格・含有量)	250mg/1錠 1錠中ファミシクロビル 250mg 含量する
(一般名)	ファミシクロビル錠
(メーカー名)	マルホ
【薬価収載日】	2008年6月
【薬価】	562.90円/1錠
【薬効コード】	87625
【薬効分類名】	抗ヘルペスウイルス剤
効能・効果	帯状疱疹
用法・用量	通常、成人にはファミシクロビルとして1回500mgを1日3回経口投与する。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	本剤作用増強 プロベネシド
副作用	重大な副作用 精神神経症状、重篤な皮膚障害 (以下類薬)アナフィラキシーショック、アナフィラキシー様症状(呼吸困難、血管浮腫等)、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、播種性血管内凝固症候群(DIC)、血小板減少性紫斑病、急性腎不全、精神神経症状、呼吸抑制、無呼吸、間質性肺炎、肝炎、肝機能障害、黄疸、急性膵炎
備考	腎障害患者には、Cr _c に応じた減量投与が望ましい。透析患者には減量投与が必要。

(薬品名)	ビクトーザ皮下注 18mg	劇	市販直後調査 平成 22 年 6 月～平成 22 年 12 月
(英名)	ViCTOZA		
(規格・含有量)	18.0mg/筒 1筒 (3mL) 中に有効成分リラグルチド(遺伝子組換え)18.0mg 含有する		
(一般名)	リラグルチド(遺伝子組換え)		
(メーカー名)	ノボ ノルディスクファーマ		
【薬価収載日】	2010 年 6 月		
【薬価】	9,960.00 円/1 筒		
【薬効コード】	872499		
【薬効分類名】	ヒト GLP-1 アナログ注射液		
効能・効果	2 型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 (1) 食事療法、運動療法のみ (2) 食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用		
用法・用量	通常、成人には、リラグルチド(遺伝子組換え)として、0.9mg を 1 日 1 回朝又は夕に皮下注射する。ただし、1 日 1 回 0.3mg から開始し、1 週間以上の間隔で 0.3mg ずつ増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、1 日 0.9mg を超えないこと。		
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、1 型糖尿病患者 ③重症感染症、手術等の緊急の場合		
相互作用	本剤・他剤副作用増強 糖尿病用薬 ①ビグアナイド系薬剤(メホルミン塩酸塩等) ②スルホニルウレア剤(トルブタミド等) ③スルホニルアミド系薬剤(グリブゾール等) ④速効型インスリン分泌促進剤(ナテグリニド等) ⑤ α -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボース等) ⑥チアゾリジン系薬剤(ピオグリタゾン塩酸塩)		
副作用	重大な副作用 低血糖、膵炎 その他 便秘		
備考	①本剤は JIS T 3226-2 に準拠した A 型専用注射針を用いて使用すること ②使用開始後は室温に保管し、30 日以内に使用すること ③静脈内及び筋肉内に投与しないこと。皮下注射は、腹部・大腿・上腕に行う。		

(薬品名)	ムコダイン DS 50%
(英名)	MUCODYNE DS 50%
(規格・含有量)	100g/瓶 1.0g 中、日局 L-カルボシステイン 500mg を含有する
(一般名)	カルボシステインドライシロップ
(メーカー名)	杏林製薬
【薬価収載日】	2010 年 5 月
【薬価】	37.70 円/1g
【薬効コード】	872233
【薬効分類名】	気道粘液調整・粘膜正常化剤
効能・効果	<成人> ①下記疾患の去痰 上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核 ②慢性副鼻腔炎の排膿 <小児> ①下記疾患の去痰 上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核 ②慢性副鼻腔炎の排膿 ③滲出性中耳炎の排液
用法・用量	<成人> 通常、成人にカルボシステインとして 1 回 500mg(本剤 1.0g)を用時懸濁し、1 日 3 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 <小児> 通常、幼・小児にカルボシステインとして体重 kg 当たり 1 回 10mg(本剤 0.02g)を用時懸濁し、1 日 3 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	—
副作用	重大な副作用 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群)肝機能障害、黄疸ショック、アナフィラキシー様症状

(薬品名)	モルヒネ塩酸塩錠 10mg「DSP」	劇
(英名)	Morphine Hydrochloride	
(規格・含有量)	10mg/錠 1錠中モルヒネ塩酸塩水和物 10mg を含有する	
(一般名)	モルヒネ塩酸塩錠	
(メーカー名)	大日本住友製薬	
【薬価収載日】	2008年4月	
【薬価】	128.30円/1錠	
【薬効コード】	878114	
【薬効分類名】	鎮痛剤	
効能・効果	激しい疼痛時における鎮痛・鎮静 激しい咳嗽発作における鎮咳 激しい下痢症状の改善および手術後等の腸管蠕動運動の抑制	
用法・用量	通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として1回5～10mg、1日15mgを経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する	
禁忌	①重篤な呼吸抑制のある患者 ②気管支喘息発作中の患者 ③重篤な肝障害のある患者 ④慢性肺疾患に続発する心不全の患者 ⑤痙れん状態(てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒)にある患者 ⑥急性アルコール中毒の患者 ⑦本剤の成分およびアヘンアルカロイドに対し過敏症の患者 ⑧出血性大腸炎の患者 原則禁忌 細菌性下痢のある患者	
相互作用	本剤・他剤副作用増強 ①中枢神経抑制剤(フェノチアジン系薬剤 バルビツール酸系薬剤等) ②吸入麻酔剤 ③モノアミン酸化酵素阻害剤 ④三環系抗うつ剤 ⑤β-遮断剤 ⑥アルコール ⑦抗コリン作用を有する薬剤 他剤作用増強 クマリン系抗凝血剤(ワルファリン) 他剤副作用増強 ジドブジン(アジドチミジン) 本剤作用減弱 ブプレノルフィン	
副作用	重大な副作用 依存性、呼吸抑制錯乱、せん妄無気肺、気管支痙れん、喉頭浮腫、麻痺性イレウス、中毒性巨大結腸 その他 不整脈、血圧変動、顔面潮紅、眠気、眩暈、不安、不穏、興奮、視調節障害、発汗、悪心、嘔吐、便秘、口渴、発疹、そう痒感、排尿障害、頭蓋内圧の亢進	
備考	麻薬 投薬期間制限医薬品に関する情報: 本剤は厚生労働省告示第97号(平成20年3月19日付)に基づき、投薬は1回30日分を限度とされています。	

削除医薬品通知

●8月2日より

ゲファニール Cap 50mg	削除
ムコサールドライシロップ 1.5%	削除
アクロマイシン軟膏 3% 5g	削除
アタラックスPシロップ	削除
ファンシダール錠	削除(販売中止のため)

●9月1日より

ノボリン 30R フレックスペン	削除
------------------	----

適応追加通知

アストリックドライシロップ 80%	<p>[小児] 単純疱疹 通常、小児には体重 1kg 当たり 1 回アシクロビルとして 20mg を 1 日 4 回経口投与する。ただし、1 回最高用量は 200mg とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。 造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制 通常、小児には体重 1kg 当たり 1 回アシクロビルとして 20mg を 1 日 4 回造血幹細胞移植施行 7 日前より施行後 35 日まで経口投与する。ただし、1 回最高用量は 200mg とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p>带状疱疹 通常、小児には体重 1kg 当たり 1 回アシクロビルとして 20mg を 1 日 4 回経口投与する。ただし、1 回最高用量は 800mg とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p>水痘 性器ヘルペスの再発抑制 通常、小児には体重 1kg 当たり 1 回アシクロビルとして 20mg を 1 日 4 回経口投与する。ただし、1 回最高用量は 200mg とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
ビクロックス点滴静注 250mg	<p>[小児] 単純ヘルペスウイルス及び水痘・带状疱疹ウイルスに起因する下記感染症 免疫機能の低下した患者（悪性腫瘍・自己免疫疾患など）に発症した単純疱疹・水痘・带状疱疹 脳炎・髄膜炎 通常、小児にはアシクロビルとして 1 回体重 1kg 当たり 5mg を 1 日 3 回、8 時間毎に 1 時間以上かけて、7 日間点滴静注する。 なお、必要に応じて増量できるが、上限は 1 回体重 1kg 当たり 20mg までとする。 さらに、脳炎・髄膜炎においては、投与期間の延長もできる。</p> <p>新生児単純ヘルペスウイルス感染症 通常、新生児にはアシクロビルとして 1 回体重 1kg 当たり 10mg を 1 日 3 回、8 時間毎に 1 時間以上かけて、10 日間点滴静注する。 なお、必要に応じて投与期間の延長もしくは増量ができる。ただし、上限は 1 回体重 1kg 当たり 20mg までとする。</p>
タケブロン OD 錠 15mg	<p>低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 通常、成人にはランソプラゾールとして 1 回 15mg を 1 日 1 回経口投与する</p>
パズクロス注 300	<p>肺炎球菌、敗血症 敗血症、肺炎球菌による肺炎、重症・難治性の呼吸器感染症（肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染に限る）に対する 1 日 2000mg 投与</p>
アレロック錠 5	<p>[小児] アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒 通常、7 歳以上の小児には 1 回オロパタジン塩酸塩として 5mg を朝及び就寝前の 1 日 2 回経口投与する。</p>
パルミコート 200 μ g タービュヘイラー 56 吸入	<p>[小児] 通常、小児には、ブデソニドとして 1 回 100~200μg を 1 日 2 回吸入投与する。 なお、症状に応じて増減するが、1 日の最高量は 800μg までとする。 また、良好に症状がコントロールされている場合は 100μg 1 日 1 回まで減量できる。</p>

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
・プレタール OD錠 50mg/100mg (大塚製薬)	プレタール錠 50mg/100mg (大塚製薬)

医薬品規格追加通知

今回採用医薬品
・ベネフィクス静注用 2000 (ファイザー)